

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。
ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

まずは、確実な情報が大事
その次に迅速な対応

大雨情報をキャッチ! こんなときのわが家の安全対策

大雨注意報・警報・特別警報の発表基準



大雨注意報

大雨による災害が発生するおそれがあると予測される場合。

大雨警報

大雨による重大な災害が発生するおそれがあると予測される場合。

特別警報

台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、
若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧による
大雨になると予想される場合。

特別警報は大規模な災害の発生が切迫していることをお知らせする警報です。

特別警報が発表されたら

非常事態

- ・尋常ではない大雨が予想されています。
- ・重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ・ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

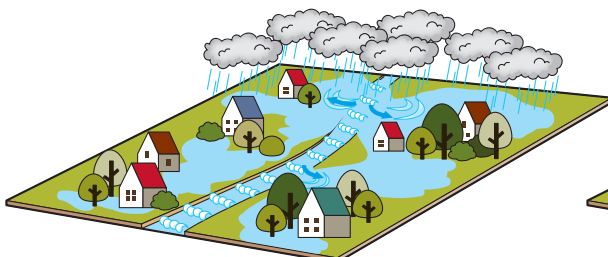
□避難勧告等に従い直ちに避難所に避難! 外出が危険なときは、家の中で少しでも安全な場所に移動
「住居の位置」や「住居の構造」、「既に浸水が生じている状況なのか否か」によって「自宅外避難」の必要性は異なりますので、冷静な判断が重要です。災害から命を守ることが出来る行動を考えておきましょう。

氾濫

雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

外水氾濫

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越える。
あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる
洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増しますので、最大の
注意が必要。



内水氾濫

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がは
けきれずに溜まっておきる洪水。川の水位が何mに達すれば
警報を出すなどの対応が難しいため、注意が必要。

